

令和5年12月31日（通巻第225号）

ボウルズ・ジャパン ブリテン

発行元：認定 NPO 法人ローンボウルズ日本 総務部

2023 年の年頭の挨拶

理事長 児島久雄



BJ の会員と関係者の皆様、明けましておめでとうございます。
旧年中は BJ の活動にご協力、ご提案等を頂きお礼申し上げます。
本年も引き続きよろしくお願い致します。

2023 年はコロナウイルスが 5 類に引き下げられたおかげで、練習や大会も
例年通り行えたと思います。8 月にはオーストラリアのゴールドコーストで世界選手権大会が開催
(障がい者部門もありました。)され、男女 5 名ずつ 10 名の選手を派遣しました。
障がい者部門では 2 名の男性車いす選手も派遣しました。10 月には延期となっていました
アジアパラ大会が中国の杭州で開かれ男女 1 名ずつ派遣出来ました。

2024 年も早々と 3 月にはタイでのアジア選手権大会および U-25 大会が、4 月にはインド
ア・シングルス選手権大会が開催され派遣選手も決定しています。選手のご健闘を期待いたします。

一方で、BJ 加盟会員数を増やすことについては、コロナの影響もあって不調であったとは言え、
そろそろ巻き返しを図らないと当法人の解体の危機にもつながりかねない重要な課題と認識され
ます。

京都や高知において若い会員が増え、諸大会において活躍されてきていることは大変に喜ばしいこ
とであります。他方では会員の高齢化のために十分に活動できない人が増えているというクラブ
が少なくないことが実態であります。

何度も繰り返し言われている言葉ですが、「富士山のように高い山（国際大会でメダルを取れる
ような人）を造ろうとすれば、富士山のように裾野を大きくしなければならない（愛好者数を拡大
しなければならない）」ということであり、両者は切り離すことのできない
2 つの大きな課題です。

今年の目標としては、みんなで知恵を出しあって、汗をかきあって、1 人でも多く会員を BJ に
招き入れることを進めたいと思います。

BJ の会員、関係者の皆様の一層のご協力をよろしくお願い致します。

会長 來田享子

B J 会員のみなさま、明けましておめでとうございます。



新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、社会活動は以前のようにもどりつつあります。とはいえ、変異するウィルスへの対応は変わらず求められ、インフルエンザなどの流行も続いています。加えて、寒暖差が激しく、気候変動の影響を感じさせる年末年始となりました。

これらの変化は、健康的な生活やスポーツ活動にも大きな影響を与えています。とくに深刻なのは、新型コロナウイルスの感染拡大時期にスポーツや身体活動から離れてしまい、運動習慣が途切れた人々の割合が依然として高いことだとされています。こうした人々がもしボウルズに出会ったら、どのような経験を得ることができるのでしょうか。グリーンに立てば、陽光や風を感じることができます。人工芝ではない場合には、朝から夕方にかけての短時間でさえ、生命が成長することを目の当たりにすることができます。それは、生きることの楽しさやありのままの自分でいて良いのだと実感させる、貴重な体験になるのではないのでしょうか。

残念なことに、ボウルズは、パリ 2024 大会や 2026 年愛知・名古屋アジア・アジアパラ大会の正式種目にはなりません。しかし、人々が注目するこれらの大会で新たに採用される種目には、21 世紀の社会に適合する素晴らしさという点でボウルズとの共通点があります。たとえば、ブレイキンやスケートボードは、選手が自分らしさを表現するために技術を磨き、選手同士、選手と観客がコミュニケーションをとることで盛り上がります。ウィンドサーフィンは、自然との呼応、駆け引きを楽しむ種目です。B J 会員のみなさんであれば、ボウルズにもこうした要素があることを経験し、その魅力にとりつかれていることでしょう。

ボウルズでは、チームの個性を活かした戦略をとりながらジャックに向かいます。その時間はいつの間にか対戦相手との隔たりを忘れさせるような一体感をグリーン上にもたらしめます。ボウルズは、人間は立場や違いをこえて同じ目標に向かうことができる、ということを実感させてくれます。このようなボウルズの特性は、人々が分断し、国際的にも紛争が激化する今、人間のつながりを取り戻すために欠かせないように思われます。

現在、日本では運動部活動の地域移行が進もうとしています。この動向は、子どもたちがこれまでの学校生活では経験することができなかったスポーツに取り組む機会として活かすことができます。ボウルズは、グリーン（またはカーペット）とボウルさえあれば、少人数でも、普段着でも、子どもたちが楽しむことができます。同じことは、日本にルーツのない人々にもいえます。ルールがシンプルなのに、戦略は奥深いボウルズは、だれもが一緒に、手軽に、継続して楽しむことが可能です。ボウルズには、多様な人々を受け入れる土壌があるという強みを活かせば、仲間を増やすことができるのではないのでしょうか。

子ども、外国にルーツのある人の他、性別、性自認や性的指向、宗教、経済状況にかかわらず、多様な人々が参加できるようなイベントを街の祭りの日に開くことはできないだろうか。種目としてのルーツが近いボッチャ競技等と組織的につながるのもアイデアのひとつかもしれな

い。地元グリーンがある地域なら、ふるさと納税の返礼品にボウルズ体験会への参加を盛り込む、なんていうのはどうだろう…。「遊び心」をもって、いろいろなアイデアを出し合っていると良いなと思います。私たちの「遊び心」が多くの人に共有され、社会が明るく、楽しくなるように。そんな1年になることを願っています。

一般情報など

(1) 国際選手権大会出場者が決定

11月30日が応募期限であった次の2大会について、下表の左欄のとおり応募者がありました。そして12月9日に開催された選手選考委員会の結果で右欄のとおりに出場選手が決定しました。

なお選手選考委員会は、当初は廣内鐵也、松岡緑、合田純二、小山潤、前林典子、松原敬之、AlexHendyの7名が理事会承認で指名されていたがそのうちの4名が出場応募をしたため選考作業過程ではこの4名は委員会から外れ、前林委員長、松原副委員長、Alex委員の3名により所定の選考基準（募集段階で明示されているもの）に沿って選考作業が実施されました。

大会名	種目	出場枠数	応募者数	出場選手（所属クラブ）
2023 アジア 選手権大会 (2024年3月 タイ・パタヤ)	男子一般	5名	5名	小山潤、廣内鐵也、井上博樹 (LC 京都) 森紘一、合田純二 (学園ワイズ)
	女子一般	5名	10名	松岡 緑 (オーストラリアクラブ) 合田洋子 (学園ワイズ)、津山元子 (YC&AC) 高山紗生、小林麻衣子 (東京ローンボウリング) コーチ兼リザーブ 阿比留さゆり (LC 京都)
	U-25 男子	2名	1名	島 隆叶 (LC 京都)
	U-25 女子	2名	1名	島 瑚々奈 (LC 京都) コーチ 島 美里 (LC 京都)
2024 インドア シングルス 世界選手権大会 (2024年4月 ガーンジー)	男子	1名	3名	佐藤寿治 (オーストラリアクラブ)
	女子	1名	2名	黒原恵子 (オーストラリアクラブ)

(2) アジア・パラ競技大会 2026 in 愛知・名古屋大会の件

アジア・パラ競技大会は4年に1回開催される国際選手権大会であり、パラリンピック大会のアジア地域版に位置付けられるものです。この大会としては初めて日本の都市が開催地として選ばれ、2023年9月28日に名古屋市で開催都市契約式が挙行されました。

この大会では過去3回（2014年韓国ソウル、2018年インドネシア・ジャカルタ、2023年中国・杭州）連続してローンボウルズが競技種目として採用されてきましたので、この愛知・名古屋大会でも引き続いて採用して欲しいと1年前から大会準備委員会にBJとして働きかけていました。さらに今年に入ってからアジア・ローンボウルズ連盟会長およびワールド・ボウルズ会長からもそれぞれ単独に大会組織委員会に同趣旨の依頼のレターを出してもらっていました。

しかし、残念ながら直近において大会組織委員会からの正式回答として「アジア・パラ競技委員会 APC との正式競技種目決定会議においてローンボウルズは採用されなかった。」との伝達を受け取りました。その詳細根拠は公開されていませんが、大会開催費用の膨張を抑止したいために競技会場の新設を要する種目は採用できなかったという事情があったようです。

2023年12月の行事、活動などの結果

(1) BJ 第3回理事定期理事会

日時：12月17日（日）13：00～15：45

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：2023/2024年度理事会メンバー25名中の20名が出席（委任状提出3名、当日出席17名）、欠席は5名

議事結果：

議題1．本年度の会計中間報告（会議資料1）---異議なしで承認

議題2．来年度の事業計画案の検討（会議資料2）---原案の大筋に沿って更に
次回の最終理事会までに細目を継続検討することで承認

議題3．ガバナンスコード適合性審査対応

* 次期5カ年計画の策定体制の審議---プロジェクトチームを編成して2024年度中で次期5カ年計画の策定を進めることを決定した。チームメンバーの推薦者も出された。確定メンバー表は理事長、副理事長の3名でとりまとめることとした。

* 定款改訂（理事在任期間上限10年の追記）の審議---原案通りに上限10年を織り込むことで承認・決定

* コンプライアンス委員の改選---コンプライアンス委員長に來田享子（理事、会長）、副委員長に依田成史（監事）が推薦され満場一致で承認・決定された。

報告事項など：

報告1．2023アジア選手権大会、2024インドアシングルス世界選手権大会の選手選考の進行状況（廣内技術・競技部長および前林選手選考委員会委員長より）

報告2．次世代開発部からの依頼事項（吉中次世代開発部リーダーより）

報告3．広報部からの依頼事項（吉中広報部長より）

その他。（詳細は省略）

(2) 2023年世界ジュニア（U-25）選手権大会の結果

主催：World Bowls

主管：International Indoor Bowls Council

場所：英国スコットランド イースト・キルブライド・インドア ボウリング クラブ

日時：12月3日（日）～8日（金）

競技方式：セット方式〈1ゲームは2セット〈7エンド〉+1エンド・タイブ레이크〉

日本からの参加者：男子シングルス種目 長本祐太 (LB 高知 UC)

コーチ 川本真浩 (LB 高知 UC)

男子シングルス戦結果：参加選手 17 名が 4 グループに分かれて、予選ラウンドはグループ内総当たり戦。グループの 1 位、2 位の 2 名が決勝トーナメントに進出。

グループ A に所属した長本選手は、米国と南アフリカに勝ち、ナミビアとウェールズに負けて、2 勝 2 敗の大健闘であったが、グループ内 3 位で惜しくも決勝トーナメント進出はならず。

ミックス・ペアーズ戦結果：長本選手はスコットランドの Aimee Harris (エイミー・ハリス) 選手と組んで出場。17 チームが 4 グループに分かれて、予選ラウンドはグループ内総当たり戦。グループの 1 位、2 位の 2 チームが決勝トーナメントに進出。

グループ D に所属した長本・ハリスチームは、ハンガリーとウェールズに勝ち、南アフリカに負けて、2 勝 1 敗でこちらも大健闘であったが、獲得セット数の差で惜しくも決勝トーナメント進出は逃した。

なお、決勝トーナメント進出を逃した選手によるコンソレーション・ゲーム (ペアーズ戦) で、長本選手は南アフリカの K・カニール選手と組んで見事に銅メダルを獲得した。

後のページに長本選手からの報告記事を掲載します。

(3) 関東地区のローンボウルズ規則講習会・マーカー・メジャーリング講習会を開催

BJ 公認審判員資格の取得 (新規および更新) を目指して、関東地区の講習会を開催した。

2 回の機会を設け、どちらかを受講すれば良いようにした (資格認定試験はこの後に実施予定)。

日時：第 1 回目 12 月 16 日 (土) 10:00~16:00

場所：YC&AC 10:00~15:00 規則講習会 2 階 カードルームにて

12:00-13:00 はレストランにて昼食

15:00~16:00 マーカー・メジャーリング講習会 ローンボウルズグリーンにて

講師：関東 LB 協会会長 松原敬之氏

受講者：9 名 (東京 LBC) 松原和子、田中希望、高山沙生 (YLBC) 依田成史

(YC&AC) Kaz Umeda、津山元子、小島弘子、Hideaki Ando、伊藤重光

第 2 回目については、2024 年 1 月 14 日 (日) に同じく YC&AC で開催予定。

講師は BJ 技術・競技部長 廣内鐵也氏

(4) 男子ペアーズ日本選手権大会

主催：BJ 技術・競技部 主管：関西 LB 協会

場所：しわせの村ローンボウルズグリーン 日時：12 月 2 日 (土)、3 日 (日) 9 時~17 時

参加チーム：前年度チャンピオン 1 チーム、関東地区予選通過 4 チーム、

関西地区予選通過 7 チーム 合計 12 チーム

競技方式：一人 3 球×12 エンド戦 (95 分の時間制限付き)

予選ラウンド：4 チームずつ 3 グループに分かれ、総当たり 3 試合および別グループチームとの 1 試合の合計 4 試合を戦う。

決勝ラウンド：予選グループ1位の3チームおよび2位の最上位1チームの合計4チームにより勝ち抜き方式で準決勝、決勝および3位決定戦を行う。
同様に、5位～8位決定戦および9位～12位決定戦を行う。

競技結果：

最終順位	選手名	クラブ名	競技結果		
			予選ラウンド	決勝 R1	決勝 R2
1位	田町智之、小山 潤	甲南・京都	A-1位 (3勝1分け)	13-11	16-11
2位	竹田 宏、坂本統一	神戸タッチャーズ	B-1位 (4勝0敗)	14-9	11-16
3位	山根英輝、大杉正樹	神戸ボウズ	B-2位 (3勝1敗)	11-13	10-8
4位	藤川辰美、森 紘一	学園ワイズ	C-1位 (3勝1分け)	9-14	8-10
5位	旭 吉功、関口 溜	ALBC	A-2位 (3勝1敗)	14-9	11-9
6位	木村和暉、植松博至	兵庫車いす	C-2位 (2勝2敗)	10-15	9-11
7位	村瀬 康、依田成史	YLBC	C-3位 (2勝2敗)	15-10	13-10
8位	井上博樹、廣内鐵也	LC 京都	B-3位 (1勝3敗)	9-14	10-13
9位	黒沢俊晴、伊藤重光	YC & AC	A-4位 (0勝4敗)	10-8	14-10
10位	田中希望、松原敬之	東京 LBC	B-4位 (0勝4敗)	17-7	10-14
11位	坂田諒介、中原大地	LB 高知	A-3位 (1勝3敗)	8-10	14-9
12位	Terry P、Ed Usuda	YC & AC	C-4位 (1勝3敗)	7-17	9-14

(5) Aリーグカップ 2023 年後期大会 (第 11, 12 節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Aリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月17日(日)、24日(日) 9:00~12:00

結果：12月24日で後期大会終了。最終成績は次の通り。

	A-1 リーグ		A-2 リーグ	
1位	長島俊和 (ALBC)	130点	野上哲男 (タッチャーズ)	124点
2位	西條和子 (ALBC)	126点	垣内紀子 (ALBC)	124点
3位	森 紘一 (学園ワイズ)	105点	山崎清子 (ALBC)	105点
	南部貞三 (ゆうゆうクラブ)	105点		

(6) SVリーグ 2023 年度 後期大会 (第 5, 6 節)

主催：関西 LB 協会

主管：SVリーグ実行委員会

ALBC (統括)、村人クラブ (会計)、学園ワイズ (記録)

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月9日（土）、23日（土）13:00～16:00

競技結果：12月23日終了時点での成績

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
チーム名	兵庫車椅子A	学園A	学園B	ALB C	LC 京都	タッチャーズ B	タッチャーズ A	兵庫車椅子B	タッチャーズ C	村人クラブ
勝点	30	22	22	22	21	17	15	13	9	6
得失点差	+38	+28	+19	+15	+46	0	-1	-35	-62	-48
得点合計	121	117	111	115	127	97	98	76	73	80

(7) Mリーグ 2023年度 後期大会（第5,6節）

主催：関西LB協会主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月6日（水）、16日（水）13:00～16:00

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、フォアーズ戦を行う。8エンド戦を2ゲーム行う。

競技結果：12月6日終了結果の成績（出席率 70% 以上が対象）。16日は雨天で中止。

順位	氏名	平均ポイント	合計ポイント	試合数
1位	八杉 瞳（兵庫車いす）	6.2	62.0	10
2位	中田照男（神戸タッチャーズ）	6.1	61.0	10
3位	小野宦司（フリー）	5.9	59.0	10

(8) 明石公園ジュニア・ローンボウルズ教室（第14回目）を開講

日時：12月17日（日）9:30～12:00

場所：明石公園ローンボウルズ場

実施内容：9:30～10:00 座学研修 ラインの見つけ方、ウエイトの調整方法について

10:00～12:00 実技練習 ①ジャック、ボウルの投球

②ゲーム（ペアーズ戦4チームに分かれてペアーズ戦）

参加者：受講生7名（小学4年生2名、5年生2名、6年生1名、中学2年生2名）

講師：7名（長島、関口、奥田、小林、藤川、前林、森）

(9) 2023年度明石市総合体育大会ローンボウルズ大会

主催：明石市および明石体育協会

主管：関西LB協会および明石市ローンボウルズ協会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月10日（日）9時～17時

競技方式：男女フリー・トリプルズ、一人3球×8エンド戦

10チームが参加し、勝ち抜き方式により各チームが4ゲームを戦う。

結果：

Δ＝総得失点差

順位	所属クラブ	選手名	成績
1位	車いす・京都混成	八杉 瞳、児島久雄、吉中康子	4戦全勝
2位	学園ワイズ	上田ひとみ、森 弘子、森 紘一	2勝1分、1敗、Δ＝+9
3位	ALBC	関口伸子、小林綾子、西條和子	2勝1分、1敗、Δ＝+6

(10) 韓国ボフン・クラブが来訪して交流大会を開催

韓国から退役傷痍軍人らで構成されているボフン・ローンボウルズクラブから車いすボウラーおよびその付き添いスタッフらを含めて約20名が神戸を訪問され、BJの障がい者ローンボウルズ部所属の車いす選手やそのサポートスタッフらとの交流大会を神戸市しあわせの村グリーンで12月14日（水）、15日（木）、16日（土）の3日間で行った。

この日韓交流活動は10年以上継続しているものであるが、新型コロナウイルスの影響で3年ほど中断していた。このたびやっと再開することが出来たもので、来年はおそらく日本から韓国を訪問することになるであろう。



宿泊したしあわせの村本館ロビーで、クリスマス・イルミネーションを前にしての全員記念写真

2024年1月の計画、予定

(1) BJ 理事連絡会 (Zoom Web 会議) 令和 5 年度 (第 6 回) 開催

日時：1 月 20 日 20 : 00 ~ 21 : 30

場所：Zoom による Web 会議

参加者：2023/2024 年度理事会メンバー、オブザーバーも歓迎

内容：追って連絡

(2) A リーグカップ 2024 年後期大会 (第 1, 2 節)

主催：関西ローンボウルズ協会 主管：A リーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：1 月 7 日 (日)、21 日 (日) 13 : 00 ~ 16 : 00

参加申込み：誰でも参加できます。参加希望者は当日 30 分前までに来場し受付に申出る。

(3) SV リーグ 2023 年度 後期大会 (第 7, 8 節)

主催：関西 LB 協会

主管：SV リーグ実行委員会 ALBC (統括)、村人クラブ (会計)、学園ワイズ (記録)

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：1 月 6 日 (土)、20 日 (土) 13:00~16:00 (12 時 45 分までに受付完了のこと)

競技内容：10 チームが参加し、ペアーズ戦を 2 ゲーム行う。

(4) M リーグ 2023 年度 後期大会 (第 7, 8 節)

主催：関西 LB 協会 主管：M リーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：1 月 10 日 (水)、27 日 (土) 13:00~16:00 (12 時 45 分までに受付完了のこと)

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、
フォアーズ戦を行う。8 エンド戦を 2 ゲーム行う。

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。チーム編成は当日の抽選にて決定。

(5) 明石公園ジュニア・ローンボウルズ教室 (第 15 回) を開講予定

日時：1 月 21 日 (日)、9:30~12:00

場所：明石公園ローンボウルズ場

実施内容：9:30~10:00 座学、10:00~12:00 実技

(6) JPC (日本パラリンピック委員会) インテグリティ研修会 (zoom によるセミナー)

日時：1 月 19 日 (金) 18:00~19:00

テーマ：NF (競技別の国代表組織、ローンボウルズであれば BJ) の権利と義務について

聴講：希望者のみ (問い合わせは BJ 事務局へ)

2023年世界ジュニア（U-25）選手権大会への参加しての報告

長本祐太（LB 高知 UC）

私は、2023年世界ジュニア選手権（2023 IIBC World Junior Championships）に出場しました。

今大会は、自身初の国際大会となりました。また、自身初の海外となりました。そのため、様々な場面で不安や緊張を感じる場面がありましたが、その中で多くのことを経験することができた大会となりました。

結果としては、シングルス 2 勝 2 敗、ペアーズ 2 勝 1 敗でどちらも決勝トーナメントに進出することはできませんでした。このような結果となり、満足がいくようなものではありませんでしたが、自身初の国際大会という中で最低限のことはできたのではないかと思います。特に、タイブレークとなった場面ですべて勝つことができたという点においては良かったと考えます。

今回、勝つことができた理由としては、2 つ考えられます。

1 つ目は、インドアだったということです。ローンボウルズ高知 UC では、普段、体育館にカーペットを敷いて練習を行っています。その普段の練習の雰囲気と似ていたことで、気持ち的に少しリラックスしながらプレイすることができたのではないかと思います。

2 つ目は、今までにいろいろなところでプレイしていたということです。私は、大会に出る際には、どこに行っても自分が普段練習している場所ではないため、その場でそのグリーンに適応していく必要があります。この適応する力を普段の大会から養うことができていたため、今大会のグリーンにも適応することができたのではないかと思います。

そして、今回の大会を通して、2 つのことに気が付くことができました。

1 つ目は、ドライブとドライブを投げた後のドローが大切だということです。

今大会では、海外の選手がドライブを投げている姿を何回か見ることができました。海外の選手が投げるドライブは、精度が高く、ほとんどの投球が試合状況を大きく変えるものになっていました。また、ドライブの精度が高いことに加えて、ドライブを投げた後のドローがとても素晴らしかったと感じました。ドライブを投げたとき、ジャックに当たると、ジャックがディッチに落ちる場合が多いと考えます。このような場面になった時に、ディッチぎりぎりにボウルを投げるか、T 点に投げるのが求められます。ここの局面での投げる精度がとても高く驚きました。やはりドライブ&ドローができるようになると、戦術に幅ができると考えます。なので、普段からドライブの練習を行い、またドライブによってジャックがディッチや T 点に動いたときのことを想定したドローの練習も行っていくことが大切であると感じました。

2 つ目は、緊張感を持ちながらも楽しくプレイすることが大切だということです。

今大会、自分は初めての国際大会であり挑戦者だったので、やるしかないという気持ちで挑むことができ、余計なプレッシャーを感じることなく楽しくプレイすることができました。プレッシャーを感じてしまうと、普段通りの投球ができなくなってしまうと考えられます。そのため、たとえプレッシャーがかかったとしても、いつも通りの投球ができるようなメンタルを養っていくことが必要になってくると感じました。このメンタルの部分は、普段の練習や大会で少しずつ養っていくことができると思うので、意識をしながらプレイしていきたいと感じました。

今回の世界ジュニア選手権を通して、自分の課題や大切なことについて気が付くことができました。この大きな経験を糧に今後も練習に励み、次の出場時にはメダルを取れるように頑張りたいと思います。

大会期間中、共に戦ってくれたエイミー・ハリス Aimee Harris 選手、コーチとして毎日サポートして頂いた川本先生には、本当にお世話になりました。改めて感謝申し上げます。

そして、日本から応援して下さったローンボウルズ日本 BOWLS JAPAN の皆様、ローンボウルズ高知 UC の仲間、いつも支えてくれている家族に心から感謝いたします。 (以上)

オーストラリアクラブ長谷部健太選手の活躍状況報告

松岡 緑 (オーストラリアクラブ)



ボウルズ・ジャパン会員 (オーストラリアクラブ) の長谷部健太君が2024年2-3月にクイーンズランド州のプレミアリーグでもプレイします。

オーストラリアにはプレミアリーグといって、在豪のトッププレイヤーによるリーグがあります。

ニューサウスウェールズ州ではおよそ2,000のローンボウルクラブがありますが、プレミアリーグへの参加に選ばれているクラブは16しかありません。現在、長谷部君はその中の St. Johns Park というクラブの最も高いグレードのリーグでプレイしています。このリーグはフォーズが3チームあり、対戦相手との総合点勝負をします (4名×3チーム=12名が1チームです)。

St.JohnsPark のトップチームは今年世界選手権で優勝し、ゴールドコーストの Broad Beach でプレイしているカナダ代表の Ryan Beste や Ben Twist などの世界でもトップクラスの選手がプレイしています。その中で健太君は Ryan がスキップをするチームのセカンドとしてプレイしました。プレミアリーグでプレイする選手は所属クラブ内だけでなく、12名中の2名は他の州から助っ人を雇うことができます。St.Johns Park でも Ryan Bester はクイーンズランド州からの助っ人です。

この度健太君はクイーンズランド州の Drayton というクラブ (チーム名は Western Outlaws) からヘッドハントされ2024年にはこちらでもプレイすることが決まりました。クイーンズランド州のプレミアリーグは Tweed Head, Helensvale, Broad beach など強豪ぞろいの地域です。その中でプレイできることはとても名誉なことで、彼にとって2024年は2カ所でのプレミアリーグでプレイすることによって、ますます充実した年になることでしょう。 (以上)

滋賀県大津市に新しい拠点を産み出す活動開始の報告

小山 準 (LC 京都)

ローンボウルズ愛好者の皆様

こんにちは！ ローンボウルズクラブ京都の小山 潤です。
先日メールで皆様にボウルのご寄付をお願いしましたところ、全国各地から温かいご支援の声を頂き、20セットを越えるボウルのご寄付を頂きました。
ご寄付頂いた皆様からは、
必要とさせていただきます方の手に渡り、また使って頂けるなら、
これからのボウルズの輪の拡がりに活用してもらえらるなら、
未来ある子どもたちには是非使って貰いたい等、
大切にしてくられたボウルを様々な想いと共にお預かりさせて頂きました。

そして先日、滋賀県大津市の比叡平地区におきまして、第一回ローンボウルズ大会アンフィニ杯を開催することが出来ました。株式会社アンフィニ様と山中比叡平まちづくり協議会様との共催で、地域の方々を中心に30名近くの参加がありました。

大会まで5回ほど体験会を行い、本大会を迎えました。

大会の冒頭、全国のボウルズ愛好者の皆様からのご寄付により本大会が開催できる旨お伝えしましたところ、選手のみなさんからは感謝の想いと共に温かい拍手が送られました。
ご協力頂きました皆様には、一同を代表し、改めて厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

どこも熱線が繰り広げられ、決勝、3位決定戦は共に、“大人 vs 子ども”の試合となりました。どちらも大人チームが勝ちましたが、家に帰ってから悔しくて泣いているお子さんもいたようです。よく練習をしている子だったので、気持ちはよくわかります。そんな気持ちで今後もボウルズを楽しんで続けてもらえれば、ボウルズ界の未来も明るいと感じました。

大会の様子は下記リンクよりご覧頂くことが出来ます。雰囲気だけでも伝われば幸いです。テニスコートでも十分ボウルズを楽しむことが出来ました v(^)v

<https://1drv.ms/f/s!AoYcFZhR0JBngux9x60xrzw6eGdhpa?e=ifD2bt>

引き続き、同地域で活動をサポートしながらボウルズの輪を拡げ、来年には当地での大会にご招待したり、比叡平の皆さんと共に各種大会にも参加させて頂きたいと考えています。

その際は、温かく迎えて頂けますと幸いです。

今後とも、皆様に繋いで頂いたボウルズの火を絶やすことなく、盛り上げていきたいと思っております。
引き続き、温かいご支援、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(以上)